

(25) 以下の通り訂正いたします。

## P292 共同発表者追加

誤

### 304) 単独小規模訪問看護ステーションの早期経営安定化を目指す経営戦略に関する研究

○京谷和哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>株式会社絆

#### 【目的】

訪問看護アクションプラン2025をはじめ、在宅生活を支える訪問看護の重要性が強調され、訪問看護ステーションの設置数が増加している。反面、余儀なく休止や廃止する施設もあり、特に単独小規模訪問看護ステーション(単独型)の継続が困難な現状にある。訪問看護ステーション開設早期から利用者の確保が容易ではなく、事業収入が見込めないことや運転資金に人件費を多く費やすことが要因になっている。そこで、本研究では単独小規模訪問看護ステーションが早期に経営を安定させる経営戦略としてサービス付き高齢者向け住宅の事務所にテナントとして入居し、入居者に訪問看護を提供することが利用者や事業収入の早期確保に効果的であるか実績を基に明らかにする。

#### 【研究方法】

調査対象は201X年9月から11月(3か月間)のA県B市に新規開設したサービス付き高齢者向け住宅にテナント入居した訪問看護ステーション(1施設)の実績である。サービス付き高齢者向け住宅の訪問看護の利用者数、訪問件数および1か月の訪問平均単価、事業収入をデータとして、3か月間のデータを集計し分析した。調査期間は2016年2月から同年3月までとした。本研究は研究者が所属する倫理審査会で承認を得た。

#### 【結果】

訪問看護の利用者数は9月5件、10月9件、11月11件、訪問件数は9月61件、10月99件、11月150件を示し、1か月の訪問平均単価は9月6,524円、10月6,935円、11月7,936円、事業収入では9月397,940円、10月686,580円、11月1,190,380円であった。2008年3月の社団法人全国訪問看護事業協会による訪問看護ステーション経営概況緊急調査報告書によると常勤換算3人未満では51.6%、延訪問回数200回未満では61.1%の赤字が示された。

#### 【考察】

開設から3か月間のデータと他ステーションの公開情報の収集が不十分なため比較できていないことは否めないが、単独小規模ステーションほど赤字になりやすい傾向にある。早期に事業収入を増加させることが赤字からの脱却となり経営安定に寄与できると考える。人材育成や確保の観点からは看護師の安定確保といった課題は残している。早期に経営を安定させる経営戦略としてサービス付き高齢者向け住宅の事務所にテナントとして入居し、入居者に訪問看護を提供することが効果的であると示唆される。

#### 【参考文献】

日本訪問看護財団：訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル，日本看護協会出版会，2012。

正

### 304) 単独小規模訪問看護ステーションの早期経営安定化を目指す経営戦略に関する研究

○京谷和哉<sup>1</sup>，一ノ山隆司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>株式会社絆，<sup>2</sup>金城大学

#### 【目的】

訪問看護アクションプラン2025をはじめ、在宅生活を支える訪問看護の重要性が強調され、訪問看護ステーションの設置数が増加している。反面、余儀なく休止や廃止する施設もあり、特に単独小規模訪問看護ステーション(単独型)の継続が困難な現状にある。訪問看護ステーション開設早期から利用者の確保が容易ではなく、事業収入が見込めないことや運転資金に人件費を多く費やすことが要因になっている。そこで、本研究では単独小規模訪問看護ステーションが早期に経営を安定させる経営戦略としてサービス付き高齢者向け住宅の事務所にテナントとして入居し、入居者に訪問看護を提供することが利用者や事業収入の早期確保に効果的であるか実績を基に明らかにする。

#### 【研究方法】

調査対象は201X年9月から11月(3か月間)のA県B市に新規開設したサービス付き高齢者向け住宅にテナント入居した訪問看護ステーション(1施設)の実績である。サービス付き高齢者向け住宅の訪問看護の利用者数、訪問件数および1か月の訪問平均単価、事業収入をデータとして、3か月間のデータを集計し分析した。調査期間は2016年2月から同年3月までとした。本研究は研究者が所属する倫理審査会で承認を得た。

#### 【結果】

訪問看護の利用者数は9月5件、10月9件、11月11件、訪問件数は9月61件、10月99件、11月150件を示し、1か月の訪問平均単価は9月6,524円、10月6,935円、11月7,936円、事業収入では9月397,940円、10月686,580円、11月1,190,380円であった。2008年3月の社団法人全国訪問看護事業協会による訪問看護ステーション経営概況緊急調査報告書によると常勤換算3人未満では51.6%、延訪問回数200回未満では61.1%の赤字が示された。

#### 【考察】

開設から3か月間のデータと他ステーションの公開情報の収集が不十分なため比較できていないことは否めないが、単独小規模ステーションほど赤字になりやすい傾向にある。早期に事業収入を増加させることが赤字からの脱却となり経営安定に寄与できると考える。人材育成や確保の観点からは看護師の安定確保といった課題は残している。早期に経営を安定させる経営戦略としてサービス付き高齢者向け住宅の事務所にテナントとして入居し、入居者に訪問看護を提供することが効果的であると示唆される。

#### 【参考文献】

日本訪問看護財団：訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル，日本看護協会出版会，2012。